

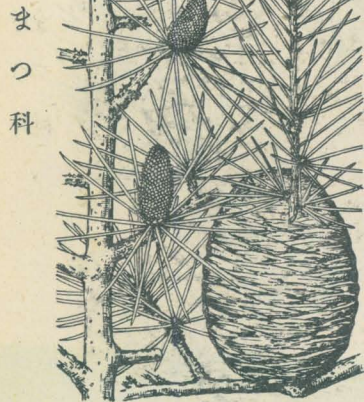


第 2710 圖

はひまつ
Pinus pumila Regel.

(= *P. Cembra* L. var. *pumila* Pall.;
P. parviflora Sieb. et Zucc. partim.)

中部以北ノ高山帯ニ生ズル常緑大灌木ニシテ、
幹ハ蟠臥シ、枝極ハ密ニ横斜交錯シテ四方ニ擴
ガリ、高サ1m内外ナレドモ斜々山上ヨリ降下
シ風ノ當ラヌ山腹ニ在テハ多少喬木狀ヲ呈スル
ニ至ル。枝質柔軟、新條ニハ赤褐色ノ短毛ヲ布
キ老成セル枝ハ黒褐色ヲ呈ス。葉ハ短ク五針一
束ヲ成シテ枝上ニ密着シ葉鞘無ク三稜狀ヲ成シ
テ尖リ、長サ5-10cm、蒼綠色ヲ呈シテこえふま
つヨリモ強剛、断面ニ二樹脂道アリ。雌雄同株
ニシテ六月開花シ、雄花ハ新條ノ側面ニ着キ苞
鱗ニ二葯アリテ黃花粉ヲ吐キ、雌花ハ新條ノ梢
ニ出デテ種鱗ニ二卵子アリ。毬果ハ卵狀橢圓形
ニシテ長サ5cm内外、初メ黒紫色後ニ暗綠色ト
成リ、種鱗ハ幅廣ク數少ク質硬厚、其端面ニハ
黒紫色ノ線平行シテ存シ、内面ニ兩凹窩アリテ
二種子相並ブ。種子ハ暗褐色ニシテ翼ヲ缺ク(類
似ノこえふまつ種子ハ有翼)。和名 這まつハ其
枝條山面ニ偃臥廣延セルヲ以テ斯ク云フ。



第 2711 圖

ひまらやすぎ
Cedrus deodara Loud.

(= *C. Libani* Barr. var. *deodara* Hook. f.;
Pinus deodara Roeb.)

印度ひまらやノ原産、明治初年渡來シ今ハ普ク
庭園ニ栽植スル常緑喬木ニシテ高サ10m餘ニ達
ス。幹ハ直立、枝極水平ニ展開シテ稍下垂シ樹姿
頗ル雅美ノ觀ヲ呈シ、樹皮ハ灰褐色ニシテ片々
ニ剝離ス。葉ハ多數短枝上ニ生シ又ハ新枝上
ニ散生シ、瘦針狀暗蒼綠色ヲ呈シ長サ3cm内外、
先端ハ鋭刺ヲ有ス、からまつニシテ剛直ナリ。
雌雄同株ニシテ樹老ヒ始メテ開花ス。雄花ハ圓
柱狀ニシテ直立シ長サ3cm内外、秋ニ開キ淡黃
褐色ヲ呈シ種鱗多數ニ重ナリ、雄蕊ハ細カシ。
毬果モ亦短枝上ニ直立シ、橢圓形ヲ成シテ長サ
10cm内外アリ、廣扇狀三角形ヲ呈セル扁平種
鱗ヲ鱗次シ、平滑ニシテ全縁、毬果ノ表面亦平
滑、帶綠灰褐色ヲ呈シ熟スレバ中軸ヨリ容易ニ
脱落ス。種子ニ翼アリ。和名ハひまらやノ産
ニシテ葉狀ノ觀サズニ似タレバ斯ク云フ。

からまつ

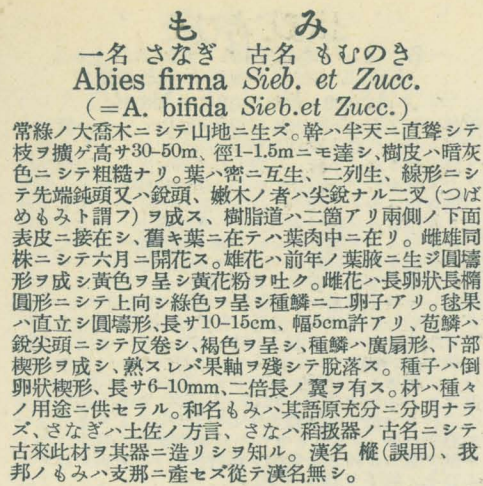
一名 ふじまつ・につくからまつ・
らくえふしょう

Larix leptolepis Murray.

(= *Abies leptolepis* Sieb. et Zucc.;
Pinus kaempferi Lamb.; *L. kaempferi*
Sarg. non Carr.; *L. japonica* Carr.)

向陽ノ山地ニ生ズル落葉喬木ニシテ多枝葉葉ナリ。幹ハ直立
シ眞直ニシテ高サ30m内外ニ達スル者アリ、樹皮ハ灰褐
色ニシテ裂鱗ヲ生ジ長鱗ト成リテ剝離シ、枝極ハ開出シ老
枝ハ往々下向ス。葉ハ柔軟針狀、短枝上ニ二十乃至三十條叢
生シ、長サ3cm内外アリ、初メ淡綠色ナレドモ後ニ鮮綠色ト
成リ落葉ノ際ハ黃色ヲ呈ス。雌雄同株ニシテ四月新葉ノ萌出
ト共ニ開花シ短枝頂ニ出テ獨在ス。雄花ハ球形・卵形又ハ長橢
圓形ニシテ無數ノ葯ヨリ成リ、葉ヲ伴ハズ苞鱗ニ二葯アリ。
雌花ハ橢圓形ニシテ下向シ種鱗ニ二卵子アリ。毬果ハ上向シ
廣卵形、長サ2-3cm、幅1.5-2cm、種鱗ハ卵圓形ニシテ熟スレバ
先端背反ス、苞鱗ハ卵狀披針形、先端圓頭ニシテ銳尖形ノ針ニ
終リ種鱗ノ約半長ヨリ長シ。種子ハ長サ3-4mm倒卵狀楔形ニ
シテ廣キ種子ノ二倍長許ノ翼ヲ有ス。材ハ建築・土木用材ト
シ、樹皮ハ染料ニ用セラレ、樹脂ヨリてれびん油ヲ採ル。和名
唐松ハ其短枝上ニ紋様ヲ成セル車輪葉ノ狀所謂唐まつ式ナレ
バ斯ク云ヒ、富士まつハ富士山ニ生ズレバ云ヒ、日光まつハ
野州日光山ニ多ケレバ云フ、落葉松ハ漢名ヲ音讀セル名ナリ。
漢名 落葉松(誤用)、落葉松ハニ金錢松ト云ヒ支那産品ノ名
ニシテ我邦ノ者ニ適用スルハ非ナリ。

第 2712 圖

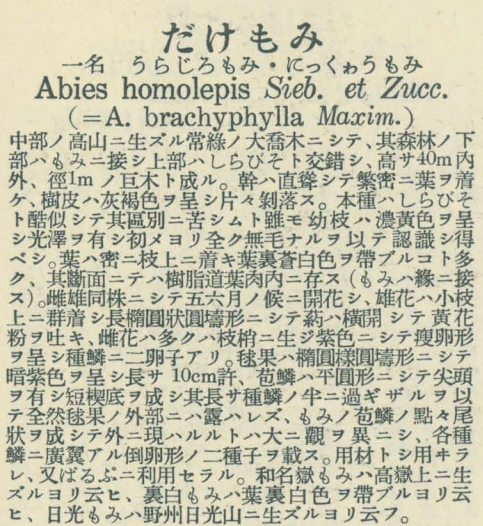


第 2713 圖

もみ
一名 さなぎ 古名 もむのき
Abies firma Sieb. et Zucc.
(= *A. bifida* Sieb. et Zucc.)

常緑ノ大喬木ニシテ山地ニ生ズ。幹ハ半天ニ直聳シテ
枝ヲ擴グ高サ30-50m、徑1-1.5mニモ達シ、樹皮ハ暗灰
色ニシテ粗糲ナリ。葉ハ密ニ互生、二列生、線形ニシ
テ先端鈍頭又ハ銳頭、嫩木ノ者ハ尖銳ナルニ又(つば
めもみト謂フ)ヲ成ス。樹脂道ハ二箇アリ兩側ノ下面
表皮ニ接在シ、舊キ葉ニ在テハ葉肉中ニ在リ。雌雄同
株ニシテ六月ニ開花ス。雄花ハ前年ノ葉腋ニ生シ圓形
ヲ成シ黃色ヲ呈シ黃花粉ヲ吐ク。雌花ハ長卵狀長橢
圓形ニシテ上向シ綠色ヲ呈シ種鱗ニ二卵子アリ。毬果
ハ直立シ圓形、長サ10-15cm、幅5cm許アリ、苞鱗ハ
銳尖頭ニシテ反卷シ、褐色ヲ呈シ、種鱗ハ廣扇形、下部
楔形ヲ成シ、熟スレバ果軸ヲ殘シテ脱落ス。種子ハ倒
卵狀楔形、長サ6-10mm、二倍長ノ翼ヲ有ス。材ハ種々
ノ用途ニ供セラレ、和名もみハ其語原充分ニ分明ナラ
ズ、さなぎハ土佐ノ方言、さなハ稻搦器ノ古名ニシテ
古來此材ヲ其器ニ造リシヲ知ル。漢名 樅(誤用)、我
邦ノもみハ支那ニ産セズ從テ漢名無シ。

まつ科



第 2714 圖

だけもみ
一名 うらじろもみ・につくからもみ
Abies homolepis Sieb. et Zucc.
(= *A. brachyphylla* Maxim.)

中部ノ高山ニ生ズル常緑ノ大喬木ニシテ、其森林ノ下
部ハもみニ接シ上部ハしらびト交錯シ、高サ40m内
外、徑1mノ巨木ト成リ。幹ハ直聳シテ葉密ニ葉ヲ着
ケ、樹皮ハ灰褐色ヲ呈シ片々剝落ス。本種ハしらびそ
ト酷似シテ其區別ニ苦シムト雖モ幼枝ハ濃黃色ヲ呈
シ光澤有シ初メヨリ全ク無毛ナルヲ以テ認識シ得
ベシ。葉ハ密ニ枝上ニ着キ葉裏蒼白色ヲ帶ブルコト多
ク、其断面ニテハ樹脂道葉肉内ニ存ス(もみハ縁ニ接
ス)。雌雄同株ニシテ五月ノ候ニ開花シ、雄花ハ小枝
上ニ群着シ長橢圓狀圓形ニシテ約ハ横開シテ黃花
粉ヲ吐キ、雌花ハ多クハ枝梢ニ生シ紫色ニシテ瘦卵形
ヲ呈シ種鱗ニ二卵子アリ。毬果ハ橢圓狀圓形ニシテ
暗紫色ヲ呈シ長サ10cm許、苞鱗ハ平圓形ニシテ尖頭
ヲ有シ短楔底ヲ成シ其長サ種鱗ノ半ニ過ギザルヲ以
テ全然毬果ノ外部ニハ露ハレズ、もみノ苞鱗ノ點々尾
狀ヲ成シテ外ニ現ハルルトハ大ニ觀ヲ異ニシ、各種
鱗ニ廣翼アル倒卵形ノ二種子ヲ載ス。用材トシ用キラ
レ、又ばるぶニ利用セラレ、和名嶽もみハ高嶽上ニ生
ズルヨリ云ヒ、裏白もみハ葉裏白色ヲ帶ブルヨリ云
ヒ、日光もみハ野州日光山ニ生ズルヨリ云フ。

まつ科



第 2715 圖

しらびそ
一名 しらべりゅうせん(同名アリ)・
こりゅうせん
Abies veitchii Lindl.

廣ク高山地帯ニ生ズル常緑喬木ニシテ高サハ 20mニ
超エ徑ハ60cm許ニ達ス。幹ハ直立シテ葉密ニ葉ヲ着
ケ、樹皮ハ灰青色又ハ灰白色ニシテ平滑、樹脂多シ。
葉ハ稍軟ク、枝上ニ二列ニ並び、下面白色、上面濃綠
色、長サ2-3cm、樹脂道ハ二箇アリ兩側ノ葉肉中ニ位
置ス。雌雄同株ニシテ六月ニ開花シ、雄花ハ小枝ニ着
キテ群ヲ成シ卵狀長橢圓形ニシテ黃花粉ヲ吐出シ約
ハ横開ス。雌花ハ小枝ニ着キ圓形ニシテ赤紫色ヲ呈
シ種鱗ニ二卵子アリ。毬果ハ圓形、暗青紫色ヲ帶ビ、
長サ5-7cm、幅2.5-3cm、種鱗ハ半圓形、圓頭、楔底、苞
鱗ハ倒卵狀楔形、種鱗ト稍同キ、先端背反シ短ク毬果
面ニ露ハル。種子ハ倒卵狀楔形、長サ6mm、翼ハ廣楔
形ヲ成シ種子ノ約一倍半乃至二倍アリテ濃紫色ヲ呈
ス。材ハ建築材・器具材・土木用材ト成シ、又ばるぶ
造ルベシ。和名ハ白檜ニシテ白檜ハ白ひのきの意、
其葉裏ノ白色ナルヨリ云ヒ、そハ何ノ意味乎予之レヲ
解セズ、白べハ白檜ノ意、龍髯ハ葉ヲ着テ伸出セル枝
極觀ヨリ云ヒ、小龍髯ハおほしらびそヲ大龍髯ト云フ
ニ對セシメシ名トナリ。

まつ科